

# かまぼこ板で巨大モザイクアートを作ろう

## ■イベントの主旨～今の人を楽しむかまぼこ板遊びとは？～

50年前、かまぼこ板は子どもたちの絶好のおもちゃでした。工作の材料に使ったり、積み木の代わりにしたり、遊びの幅は無限大。板をすぐに捨てずに、おもちゃとして使い続ける「もったいない」精神をも育ててきたのだらうと思っています。

かまぼこ屋の観点からみても、かまぼこ板との幼少期の思い出が、大人になってもかまぼこを思い出すいいきっかけになっていると思います。次世代のかまぼこ消費者を育てるためにも、かまぼこ板遊びは一役買っているのです。

しかしながら今日、かまぼこ板で遊ぶ子どもたちの姿は珍しくなっていました。

そこで今年のかまぼこ桜祭りでは、今の人たちの記憶に残るかまぼこ板遊びとは何かを、見つけ出したいと思っています。

目玉は巨大モザイクアート。パブリックアートを手掛けてきたNPO法人アート・ド・ヴィーヴルさんのディレクションの下、来場者参加型で作品を作り上げます。

## ■イベントの見所

### 巨大モザイクアート

参加者には小田原蒲鉾、小田原の桜、小田原の森里海を想起する絵を、かまぼこ板に描いてもらいます。

上記の作品をパネルに貼り、大きなかまぼこのモザイクアートを制作します。作品完成後は小田原蒲鉾組合の1階に展示する予定です。



## ■開催概要

日時： 3/30に制作予定（31日は展示のみ）

会場： かまぼこ桜祭り会場内 かまぼこ板絵ブース

参加費： 無料

参加資格： どなたでも

持ち物： 手ぶらでの当日参加可能。（※かまぼこ板を持参する場合は、洗ってよく乾かしてお持ちください。）

主催： 小田原蒲鉾協同組合

協力： NPO法人アール・ド・ヴィーヴル

▼URL : <https://www.facebook.com/odwr.kamaboko/>

小田原蒲鉾組合Facebookページにて随時、情報発信をしていきます。

## ■協業団体のご紹介

### NPO法人アール・ド・ヴィーヴル



NPO法人アール・ド・ヴィーヴルは、障がいのあるアーティストが働く福祉事業者です。「障がいがあっても自分で選択していく人生を送ってほしい」という願いのもと、アートを中心とする創作活動の場を提供しています。企業の社屋やオフィス空間アートを手掛けたり、箱根強羅公園や東京湾岸川崎埠頭での壁画などパブリックアートでも実績を上げています。

商号 : NPO法人アール・ド・ヴィーヴル

代表者 : 理事長・萩原美由紀

所在地 : 神奈川県小田原市久野906 アネシスヒルズ102

URL : <http://artdevivre-odawara.jp>

### 中津川浩章（なかつがわ ひろあき）

1958年静岡県生まれ。美術家、アートディレクター。

日本財団DIVERSITY IN THE ARTS公募展、埼玉県障害者アート企画展、大阪ビック・アイ アートプロジェクト等のアートディレクター、川崎市岡本太郎美術館「岡本太郎とアールブリュット」展のキュレーター、東北障がい者芸術公募展選考委員などを務める。

NPO法人アール・ド・ヴィーヴル理事、一般社団法人Get in touch理事、一般社団法人Art InterMix代表、エイブル・アート・ジャパン理事。